

安八の昔話

144

上村地区

文 日本児童文学者協会会員

小森 波鐘子

守り続ける

田植えが済むとどの家もゆつくり野休みをしたんやさ。

体を休めながら白山神社と神明神社に赤い提燈をつけ二百十日と二百二十日の台風が少しでもあだやかに通り過ぎてくれるよう神さまに願った。

白山神社の石燈籠には、日曜

日ごとに明かりをつけた。燈籠に火を入れる時はいつも小太鼓をたたいて村のみんなに合図したんやさ。

農家にとって毎年日を決めてやってくると二つの台風は、心底苦になる災いの日やった。

数十個の赤い燈籠と石燈籠の明かりは、かつて青年団が守ってきた。それからいくつもの幾月が流れ現在は毎月一日と十五日の二日間、十五個の赤い燈籠と石燈籠の明かりが班長によって二百二十日その日まで点けられている。



協力者

土岐 正弘さん (72歳)

ちょっと寄り道『安八町』

リニューアルして1周年・安八温泉 (安八町中須) ↓



◆入館料

大人 300円

小人(小学校1年生〜中学校3年生) 100円

小学生未満 無料

町内在住者で

65歳以上75歳未満 100円

75歳以上 無料

◆開館時間

午前9時30分〜午後9時

◆休館日

毎月1日・15日(休・祝日の場合は翌日)

◆問い合わせ先

安八温泉 (☎64・5533)

笑顔がわき出る、まちのあったか交流広場

それが『安八温泉』です。